

- グループ・チーム名：地質・地盤研究グループ 土質・振動チーム
- 災害発生年月日：令和6年1月1日
- 調査日：令和6年1月17～18日
- 派遣場所：石川県：河北郡内灘町、かほく市  
富山県：富山市、氷見市、高岡市、射水市
- 現地調査内容：令和6年能登半島地震により発生した河川構造物や液状化の被害について、国土技術政策総合研究所とともに被災状況調査を行いました。

県道8号に沿って、地盤の液状化並びに側方流動の発生が確認された。幅15m程度の水路が完全に閉塞し、流水を阻害している箇所が見られた

河北潟の堤防に沈下が見られた。堤防や堤内地道路面に多数の亀裂や噴砂が見られた。



写真1 河北潟河川構造物等被災状況調査

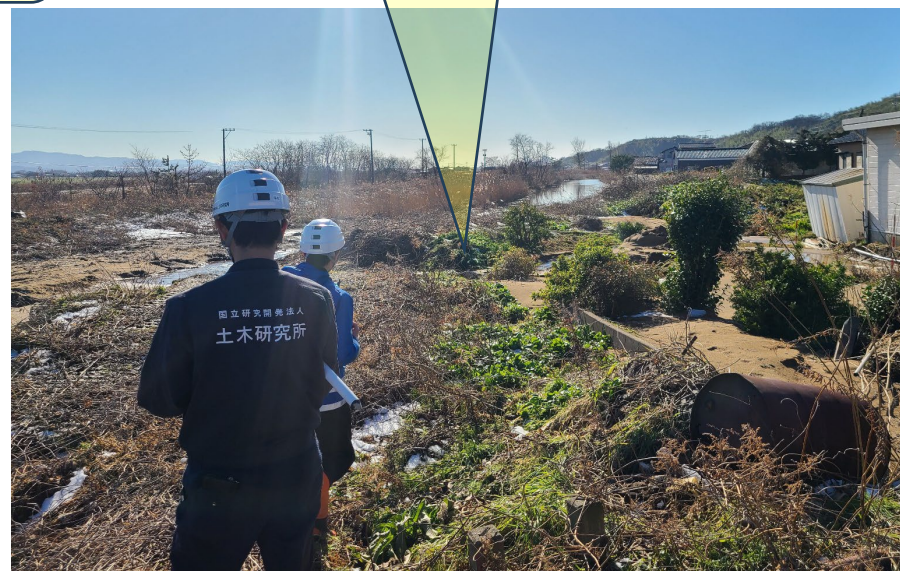


写真2 河北潟承水路の液状化被害に関する調査